

公立病院改革プランの概要

団 体 名	福岡県田川市						
プ ラ ン の 名 称	田川市立病院改革プラン						
策 定 日	平成 21年 3月 31日						
対 象 期 間	平成 20年度 ~ 平成 23年度						
病 院 の 現 状	病 院 名	田川市立病院					
	所 在 地	福岡県田川市大字糶1700番地2					
	病 床 数	342床(一般病床334床 感染症病床8床)					
	診 療 科 目	内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科・歯科口腔外科・神経内科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に密着した医療の充実(産科・小児科等の公的分野及び生活習慣病の予防、治療) ○腎治療における中核医療機関 ○循環器疾患への高度医療提供 						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○病院の建設改良に要する経費(企業債償還元利) ○救急医療の確保に関する経費 ○高度医療に要する経費 ○保健衛生行政事務に要する経費 ○医師及び看護師等の研究研修に要する経費 ○病院事業会計に係る共済長期追加費用の負担に要する経費 ○地方公営企業職員に係る基礎年金拠出に係る公的負担に要する経費 						
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	94.5	87.8	93.4	92.4	96.7	
	医業収支比率	95.6	88.2	93.9	92.8	97.3	
	職員給与費比率	49.2	57.3	59.3	58.1	53.8	
	病床利用率	91.6	79.3	81.0	81.0	81.0	
	1日平均患者数(入院)	306	265	271	271	271	
	1日平均患者数(外来)	730	670	663	663	663	
上記目標数値設定の考え方	<p>平成20年度において、医師不足を原因とする入院患者の大幅な減少に伴い不良債務の発生が見込まれることから、コスト全般の見直しと入院患者数の確保と診療単価の向上を目標に早期の経営改善を目指す。また、引き続き医師確保を最優先課題として取り組んでいく。現行体制化での財政計画では、24年度の不良債務解消を目標としている。</p> <p>(経常黒字化の目標年度:27年度)</p>						

				団体名 (病院名)	福岡県田川市 (田川市立病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
	救急受入患者数	8,411人	7,600人	7,600人	7,600人	7,600人	
	分べん数	460件	450件	450件	450件	450件	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	<p>医事業務をはじめとして、委託可能な分野については人件費抑制のために積極的に業務委託を進めてきたところであり今後も導入可能な手法については積極的に取り入れていく。根本的な経営形態等については、今後経営形態を検討する審議会等により検討が進められる内容に沿って進めていく。</p>				
		事業規模・形態の見直し	<p>経営形態等の見直しについては、平成20年11月26日付けで「田川市立病院経営の在り方庁内検討委員会」が設置され、市長部局及び病院関係者で検討を行い、21年2月16日に市長へ検討結果を報告したところであり、今後、外部委員等による審議会等においてその検討が行われ、21年度中には方向付けがなされる見込みである。</p>				
		経費削減・抑制対策	<p>平成11年の移転新設以降、民間への委託可能な業務については委託化を進めてきた。今後も契約に伴う経費抑制を念頭に置きコスト削減を目指すとともに、経常経費である光熱水費や燃料費等の節減についても徹底を図る。</p>				
		収入増加・確保対策	<p>医師確保による増収が最も望まれることであるが、当面、病床利用率の向上を目標に検査等による短期入院や、クリニカルパスの整備によるセット検査の導入等をすすめる。また、算定可能な加算等を精査することにより収入確保を図る。</p>				
		その他					
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	95.1%	18年度	91.2%	19年度	91.6%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	<p>20年度において、医師不足による直接的な影響が生じており、特に外科医の1名体制の影響が入院患者数の減少をもたらしたこと、及び看護師の追加補充採用が困難であることを勘案し、10月以降、1病棟(45床)を休床している。年間平均病床利用率は79%前後となる見通しである。</p>					

団体名
(病院名)

福岡県田川市
(田川市立病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	当院の他には川崎町立病院(102床)及び糸田町立緑ヶ丘病院(99床)の2公立病院及び公的医療機関として、社会保険田川病院(348床)が存在している。	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	当地域でも二次・三次救急体制の機能確保の重要性が求められており、輪番医療機関の集約化等がうたわれているが、計画書にも書かれており医師・看護師の確保等、対策は難しいというのが現状である。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要	<p><時期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年度における検討経過は右欄のとおり。 ・21年度中も継続的な検討を実施 	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○田川地区公立病院改革プラン検討会による検討経過 <ul style="list-style-type: none"> ・H20.12.22(第1回) ・H21.02.05(第2回) ・H21.03.06(第3回) ○今後の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・21年度も引き続き継続して検討を行い、年度中に一定の結論を予定。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度
	経営形態見直し計画の概要	<p><時期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年度における検討経過は右欄のとおり。 ・21年度中も継続的な検討を実施 	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○田川市立病院経営の在り方庁内検討委員会による検討経過 (本委員会) <ul style="list-style-type: none"> ・H20.11.28以降、4回開催 (小委員会) <ul style="list-style-type: none"> ・H20.12.04以降、7回開催 (市長報告) <ul style="list-style-type: none"> ・H21.02.16 ○今後の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な検討を行うため、外部からの委員による審議会を設置予定、12月を目途に答申を受ける予定。
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	年1回、実績(決算)に基づき、目標値との検証を行い点検・評価を行い、見直し等についてはホームページ上で公表する。	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年6月頃	
その他特記事項			

(別紙)

団体名 (病院名)	田川市 (田川市立病院)
--------------	-----------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	6,107	6,157	4,782	4,878	4,931	4,992
	(1) 料 金 収 入	5,850	5,880	4,514	4,612	4,664	4,725
	(2) そ の 他	258	276	267	266	266	267
	うち他会計負担金	70	83	92	94	94	94
	2. 医 業 外 収 益	244	226	220	212	205	200
	(1) 他会計負担金・補助金	201	191	190	184	177	171
	(2) 国 (県) 補 助 金	20	12	13	10	10	10
	(3) そ の 他	23	23	17	18	18	18
	経 常 収 益 (A)	6,352	6,383	5,002	5,090	5,136	5,192
	入	1. 医 業 費 用 b	6,429	6,438	5,423	5,194	5,311
(1) 職 員 給 与 費 c		3,043	3,028	2,748	2,755	2,825	2,627
(2) 材 料 費		1,979	1,963	1,159	976	977	978
(3) 経 費		847	848	931	894	897	900
(4) 減 価 償 却 費		544	587	571	558	597	609
(5) そ の 他		16	56	125	72	118	135
2. 医 業 外 費 用		317	314	275	253	246	235
(1) 支 払 利 息		185	183	176	164	155	147
(2) そ の 他		132	131	99	89	91	88
経 常 費 用 (B)		6,746	6,752	5,698	5,447	5,557	5,367
出	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 394	▲ 369	▲ 697	▲ 357	▲ 421	▲ 175
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	1	0	21	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	38	47	30	30	30	30
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	▲ 37	▲ 47	▲ 9	▲ 30	▲ 30	▲ 30
純	損 益 (C)+(F)	▲ 432	▲ 416	▲ 706	▲ 387	▲ 451	▲ 205
累	積 欠 損 金 (G)	6,027	6,444	7,150	7,537	7,988	8,192
不良債務	流 動 資 産 (ア)	1,353	1,344	1,126	1,072	1,090	1,178
	流 動 負 債 (イ)	1,073	1,113	1,356	1,439	1,431	1,353
	うち一時借入金	410	460	690	760	750	670
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
差引	不 良 債 務 (オ) {(イ)-(エ)} -{(ア)-(ウ)}	0	0	230	367	342	176
単	年 度 資 金 不 足 額 (※)	54	49	462	137	▲ 25	▲ 166
経	常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.2	94.5	87.8	93.4	92.4	96.7
不	良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	4.8	7.5	6.9	3.5
医	業 収 支 比 率 $\frac{c}{b} \times 100$	95.0	95.6	88.2	93.9	92.8	97.3
職	員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	49.8	49.2	57.3	59.3	58.1	53.8
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額	(H)	0	0	230	367	342	176
地方財政法上の資金不足の割合	$\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	4.8	7.5	6.9	3.5
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率		0.0	0.0	4.8	7.5	6.9	3.5
病	床 利 用 率	91.2	91.6	79.3	81.0	81.0	81.0

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」= (「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	田川市 (田川市立病院)
--------------	-----------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度						
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	
収 入	1. 企 業 債	464	18	23	0	119	214	
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	0	0	0	
	3. 他 会 計 負 担 金	284	281	283	285	367	348	
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	
	6. 国 (県) 補 助 金	3	10	3	0	3	0	
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0	
	収 入 計 (a)	751	309	309	285	489	562	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	
	純計(a)-(b)+(c) (A)	751	309	309	285	489	562	
	支 出	1. 建 設 改 良 費	469	29	27	0	122	214
		2. 企 業 債 償 還 金	430	478	589	551	550	521
		3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	21	21	21	21	21	22
4. そ の 他		0	0	0	0	0	0	
支 出 計 (B)		920	528	637	572	693	757	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)		169	219	328	287	205	195	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	169	219	45	0	0	0	
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	
	計 (D)	169	219	45	0	0	0	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	0	283	287	205	195	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)		0	0	283	287	205	195	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 益 的 収 支	() 271	() 273	() 282	() 278	() 271	() 266
資 本 的 収 支	() 284	() 281	() 283	() 285	() 367	() 348
合 計	() 555	() 554	() 565	() 563	() 638	() 613

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。